

2020年6月 渋谷



つゆのあとさき

高橋ユキノ 西野風沙 吉田伶香 洪江謙二 守屋文雄 松壽翔平 / ティ龍進 前野朋哉
原案：永井荷風「つゆのあとさき」 監督：山善晋平 脚本：中野太 鈴木理恵 山善晋平 主題歌：「つゆのあとさき」/Lilubay 挿入歌：「琥珀の五月雨」Lilubay
製作著作・配給：BBB 配給協力：インターフィルム 宣伝協力：とこしえ 制作：コギトワークス 上映尺：105分 ©2024BBB

R15+ 映倫
映倫
E11B

パパを待つだけの日々 鏡の中での出会いが私の運命を変えた

彼女たちの青春

マジックミラー越しに見える

素性を隠す嘘は、彼女たちを美しく飾る鏡だ。

仮面をかぶったまま、嘘の鏡を身にまといながら、二人は惹かれ合う。

友達は、神様がくれた奇跡だ。

言葉はいらない。

ただ一緒にいるだけで、心は満たされていく。

ひたすらに寄り添う心が、互いの傷を癒していく。

昭和初期に発表された永井荷風の小説「つゆのあとさき」。激動の時代を舞台に軽薄な男たちに翻弄されながらも、遅く生きる女性たちが生き生きと描写されている。映画では、小説に通底する普遍性をそのまま現代に置き換え、“パパ活”で自分たちのことを体目当てにしか考えていない男たちを相手に、奔放さと遅しさを持って生き抜こうとする女性たちの等身大の青春と友情をドキュメンタリータッチで描く。メガホンを取るのは『ティクオーバーゾーン』(20)『YEN (DIVOC-12)』(21)、『なん・なんだ』(22)で現代の問題を独自の目線で切り取り、エンタメ作品に昇華してきた気鋭・山崎晋平。脚本は『戦争と一人の女』(13)や『さよなら歌舞伎町』(14)『花腐し』(23)等、長年、荒井晴彦と共に脚本を作り上げてきた中野太が、現在、公開中の『蒲団』に続き山崎とタッグを組んでいる。

主人公の琴音を演じるのはオーディション約200名の中から選ばれた新人の高橋ユキノ。出会い系喫茶で知り合い、友人となるさくら役には、ムロツヨシ演出・出演の舞台「muro式がくげいかい」に抜擢されて注目を集めた西野風沙。琴音の友人でホストに貢ぐためにパパ活を続ける楓役をABEMA『恋とオオカミには騙されない』等に出演し若者の支持を集める吉田伶香。琴音達と深くかかわることになる、さまざまな理由で“パパ活をする男たち”を、前野朋哉、渋江譲二、守屋文雄、松寿翔平、テイ龍進ら名バイプレイヤーたちが演じている。

STORY

キャバクラで働いていた琴音(20)は、コロナ禍で店が休業、一緒に住んでいた男に家財を持ち逃げされ、家賃を払えなくなり、完全に生活につまずき、行き場を失ってしまう。そんな中、知り合った楓(21)の紹介で出会い系喫茶に入浴する様になり、男性客とパパ活をすることで日々を切り抜ける生活をしている。あることがきっかけで、同じ出会い系喫茶でパパ活をする大学生のさくら(20)と出会う。性格も育ちも自分とは正反対。生真面目で何事も重く受け止めてしまうさくらと琴音は不思議と馬が合い、友情を深めていくのだった。体目当ての矢田(42)、出版社の社長でパトロンでもある清岡(36)、容姿端麗なダンサーの木村(28)ら軽薄な男たちと、生活のため、ホスト通いのため、学費のため、各々の理由でパパ活をする女性達の対比で物語は進んでいく…。

高橋ユキノ / 西野風沙 / 吉田伶香 / 渋江譲二 / 守屋文雄 / 松寿翔平 / ティ龍進 / 前野朋哉

原案：永井荷風「つゆのあとさき」

監督：山崎晋平 脚本：中野太 鈴木理恵 山崎晋平 主題歌：Lilubay「つゆのあとさき」 挿入歌：Lilubay「琥珀の五月雨」 音楽：田中拓人 撮影：山村卓也 照明：津野真人 録音：加藤学

美術：三藤秀仁 衣装：中村もやし ヘアメイク：河本花葉 助監督：大城義弘 インディマナー・ディレクター：西山もも子 撮影助手：村田圭佑 監督助手：山城研二 天木皓太 制作主任：宮司侑佑

製作著作：BBB 配給：BBB 配給協力：インターフィルム 制作：コギトワークス ©2024BBB 上映尺：105分

映倫

R15+

渋谷・文化村前交差点左折

ユーロスペース

EUROSPACE

tel.03-3461-0211 www.eurospace.co.jp

